

管内地域銀行の平成 26 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は債券等関係損益の増加等により、25 年 9 月期に比べ 2.2%の増加。
- 中間純利益は、実質業務純益が増加したものの、株式等関係損益の減少、特別損失の増加等により、25 年 9 月期に比べ 4.4%の減少。

(単位：億円)

	24 年 9 月期	25 年 9 月期	26 年 9 月期	前年同期比	増減率
業務粗利益	3,079	3,130	3,173	43	1.4%
資金利益	2,641	2,740	2,669	▲ 71	▲ 2.6%
役務取引等利益	247	262	280	18	6.9%
債券等関係損益	175	99	201	102	103.0%
うち、債券等償却 (▲)	▲ 4	▲ 0	0	0	—
経費 (▲)	▲ 2,040	▲ 2,062	▲ 2,081	▲ 19	▲ 0.9%
実質業務純益	1,038	1,068	1,092	24	2.2%
与信関係費用 (▲)	▲ 77	▲ 54	0	54	黒字化
株式等関係損益	▲ 143	99	79	▲ 20	▲ 20.2%
うち、株式等償却 (▲)	▲ 144	▲ 5	▲ 0	5	100.0%
中間純利益	684	732	700	▲ 32	▲ 4.4%

(参考)

	24 年 3 月期	24 年 9 月期	25 年 3 月期	25 年 9 月期	26 年 3 月期	26 年 9 月期
預金等 (未残)	36.2 兆円	36.4 兆円	37.7 兆円	38.7 兆円	38.9 兆円	39.5 兆円
貸出金 (未残)	27.3 兆円	27.4 兆円	27.9 兆円	28.3 兆円	28.8 兆円	29.1 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 25 年 9 月期に比べ減少。不良債権比率は 0.4P 低下。

	24 年 3 月期	24 年 9 月期	25 年 3 月期	25 年 9 月期	26 年 3 月期	26 年 9 月期
不良債権額	9,139 億円	9,333 億円	9,196 億円	8,726 億円	8,174 億円	7,745 億円
不良債権比率	3.3%	3.3%	3.2%	3.0%	2.8%	2.6%

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行は 25 年 3 月期、国内基準行は 26 年 3 月期より、バーゼル 3 の適用を開始。

(国際統一基準行：2 行)

(国内基準行：10 行)

	25 年 9 月期	26 年 3 月期	26 年 9 月期
総自己資本比率	15.6%	15.3%	14.8%
Tier1 比率	13.6%	13.7%	13.1%
普通株式等 Tier1 比率	13.6%	13.7%	13.1%

	26 年 3 月期	26 年 9 月期
自己資本比率	10.8%	10.9%

- (注 1) 計数は今後業績修正等により変更の可能性がある。
(注 2) 計数は単体ベース。
(注 3) 24 年 3 月期の集計対象は管内 13 行 (地方銀行 7 行、第二地方銀行 6 行)
24 年 9 月期から 26 年 9 月期の集計対象は管内 12 行 (地方銀行 7 行、第二地方銀行 5 行)
(注 4) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。
(注 5) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第一課

TEL：(052) 951-2493

管内地域銀行の平成26年9月期決算の概要



平成26年12月5日

東 海 財 務 局



はじめに

東海財務局管内に本店を置く銀行(以下の12行)の平成26年9月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

管内の金融機関(全国銀行協会金融機関コード順)

【静岡県内】

静岡銀行(静岡市)、スルガ銀行(沼津市)、清水銀行(静岡市)、静岡中央銀行(沼津市)

【岐阜県内】

大垣共立銀行(大垣市)、十六銀行(岐阜市)

【愛知県内】

愛知銀行(名古屋市)、名古屋銀行(名古屋市)、中京銀行(名古屋市)

【三重県内】

三重銀行(四日市市)、百五銀行(津市)、第三銀行(松阪市)

※ 各計数は、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

※ 各計数は、各行の公表資料及び当局調査に基づく計数(単体ベース)を集計したものである。

※ 「管内」の計数の対象金融機関は、以下のとおり。

24年3月期の集計対象は13行(地方銀行7行、第二地方銀行6行)

24年9月期から26年9月期の集計対象は12行(地方銀行7行、第二地方銀行5行)

「全国」の計数の対象金融機関は、以下のとおり。

24年3月期の集計対象は107行(地方銀行64行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行)

24年9月期から26年9月期の集計対象は106行(地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行)

(定義) ・比率は加重平均。

・端数整理: 東海管内の計数集計においては、率による表示部分は単位未満四捨五入、額による表示部分は、単位未満切捨てで処理。

・端数整理後の計数により計算している項目もある。

・東海3県とは、愛知県、岐阜県、三重県に本店を置く地方銀行、第二地方銀行。



(参考) 収益指標

- 業務粗利益

業務粗利益 = 「資金利益」+「役務取引等利益」+「その他業務利益等」

- 実質業務純益

実質業務純益 = 「業務粗利益」-「経費」

- コア業務純益

コア業務純益 = 「実質業務純益」-「債券等関係損益」

○債券等関係損益 = 債券等関係収益(売却益+償還益) - 債券等関係損失(売却損+償還損+償却)

- 業務純益

業務純益 = 「業務収益」-「業務費用」
= 「業務粗利益」-「経費」-「一般貸倒引当金純繰入額」

○業務収益 = 「資金運用収益」+「役務取引等収益」+「その他業務収益」

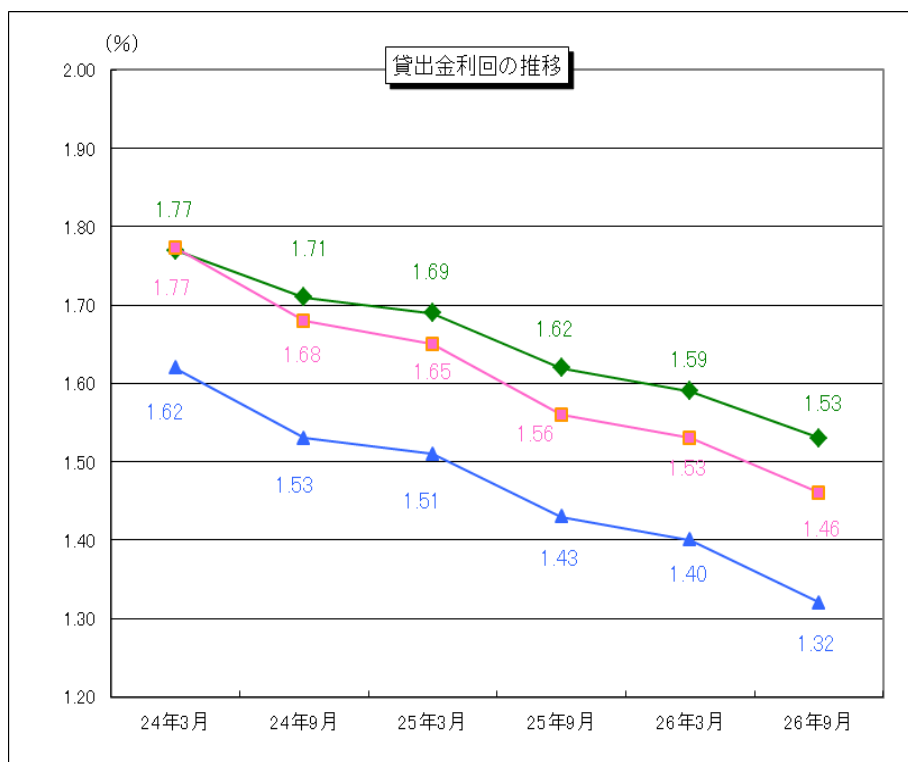
○業務費用 = 「資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後)」+「役務取引等費用」
+「その他業務費用」+「一般貸倒引当金純繰入額」+「経費」

損益の状況

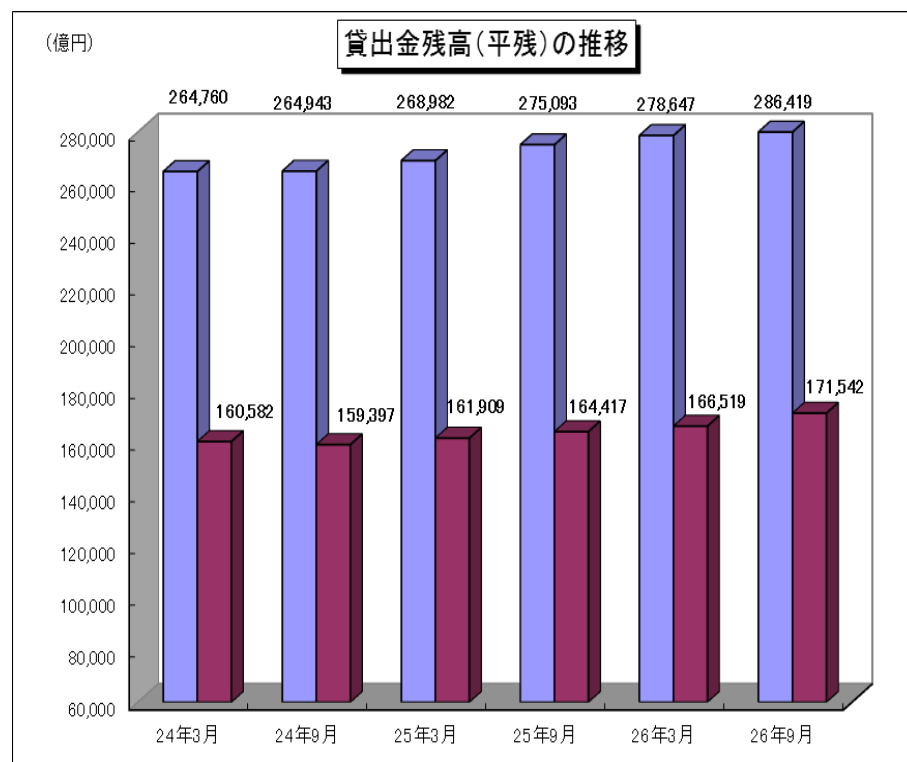
(単位: 億円)

	24年9月期		25年9月期		26年9月期		前年同期比			
	管内	(参考) 全国	管内	(参考) 全国	管内	(参考) 全国	管内	増減率	(参考) 全国	増減率
業務粗利益	3,079	24,811	3,130	24,173	3,173	23,909	43	1.4%	▲ 264	▲1.1%
資金利益	2,641	20,636	2,740	20,614	2,669	20,164	▲ 71	▲2.6%	▲ 450	▲2.2%
役務取引等利益	247	2,286	262	2,573	280	2,699	18	6.9%	126	4.9%
債券等関係損益	175	1,460	99	623	201	703	102	103.0%	80	12.8%
うち債券等償却 (▲)	▲ 4	▲ 116	▲ 0	▲ 30	0	▲ 3	0	—	27	90.0%
経費 (▲)	▲ 2,040	▲ 15,850	▲ 2,062	▲ 15,811	▲ 2,081	▲ 15,895	▲ 19	▲0.9%	▲ 84	▲0.5%
実質業務純益	1,038	8,961	1,068	8,361	1,092	8,013	24	2.2%	▲ 348	▲4.2%
与信関係費用 (▲)	▲ 77	▲ 1,411	▲ 54	▲ 695	0	▲ 83	54	黒字化	612	88.1%
株式等関係損益	▲ 143	▲ 1,681	99	734	79	393	▲ 20	▲20.2%	▲ 341	▲46.5%
うち株式等償却 (▲)	▲ 144	▲ 1,593	▲ 5	▲ 37	▲ 0	▲ 16	5	100.0%	21	56.8%
中間純利益	684	3,967	732	5,783	700	5,840	▲ 32	▲4.4%	57	1.0%

貸出金利回の状況

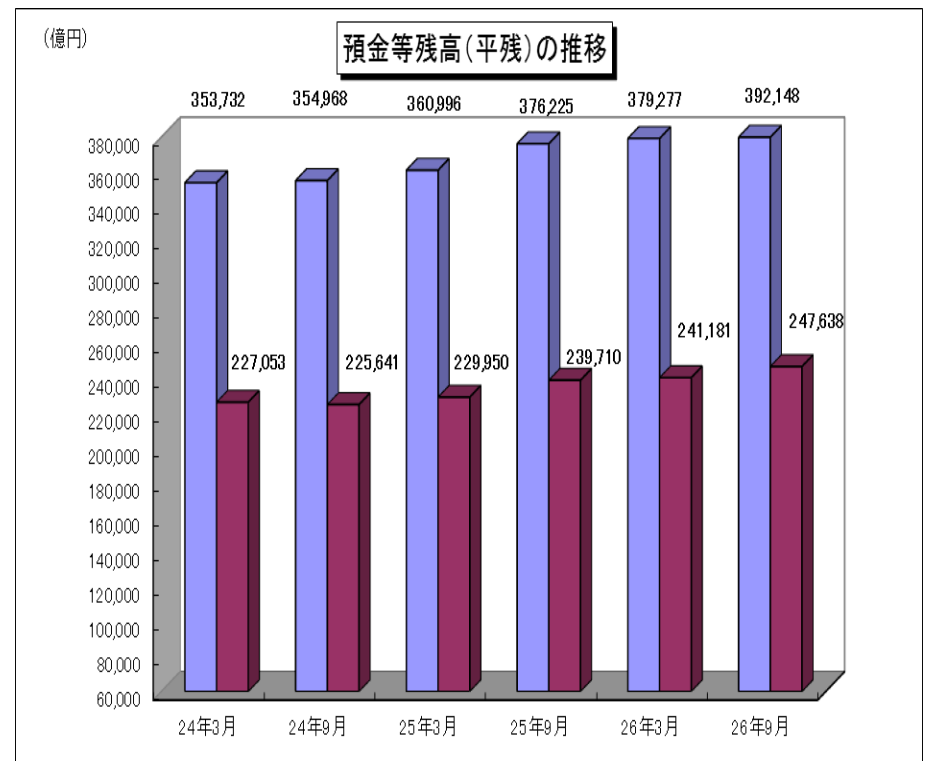
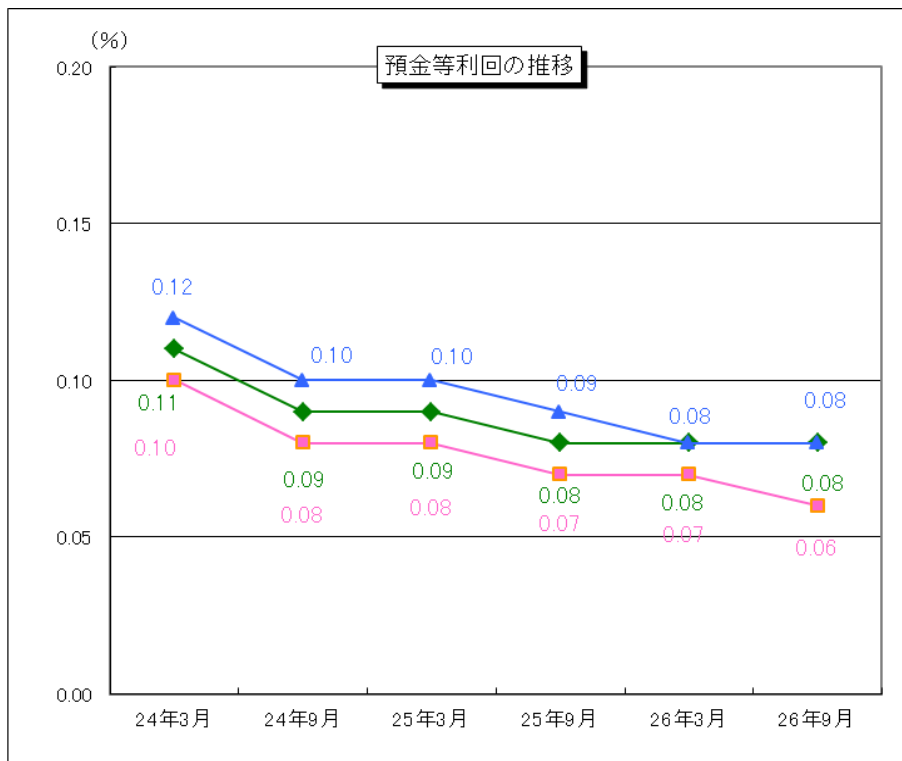


◆ 東海管内 ▲ 東海3県 ■ 全国

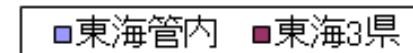
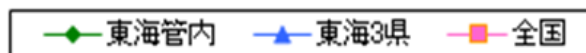


■ 東海管内 ■ 東海3県

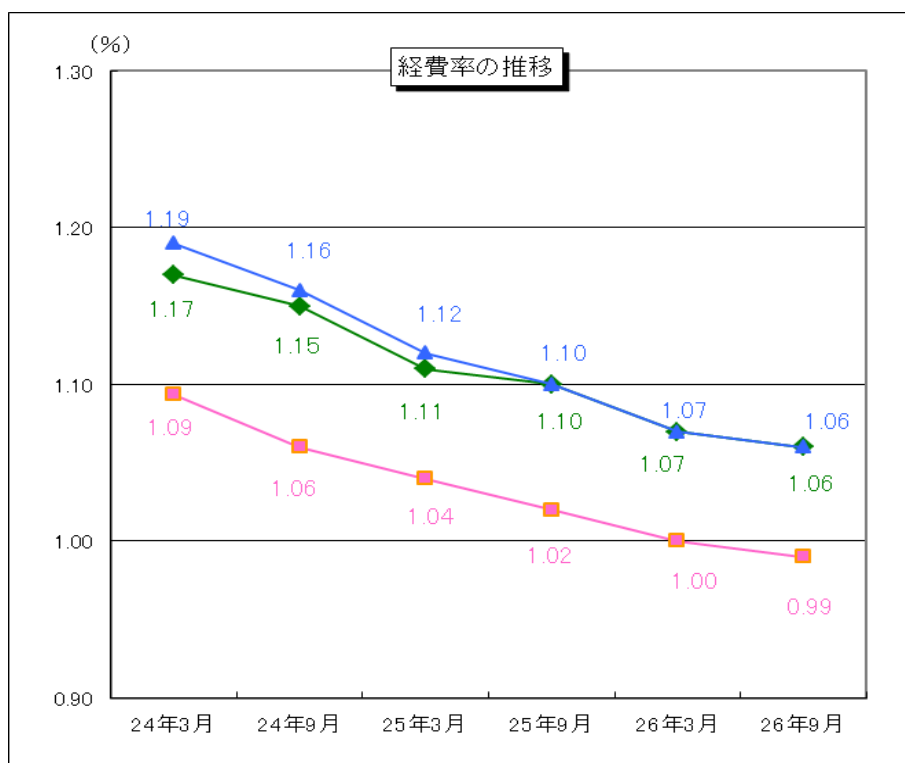
預金等利回りの状況



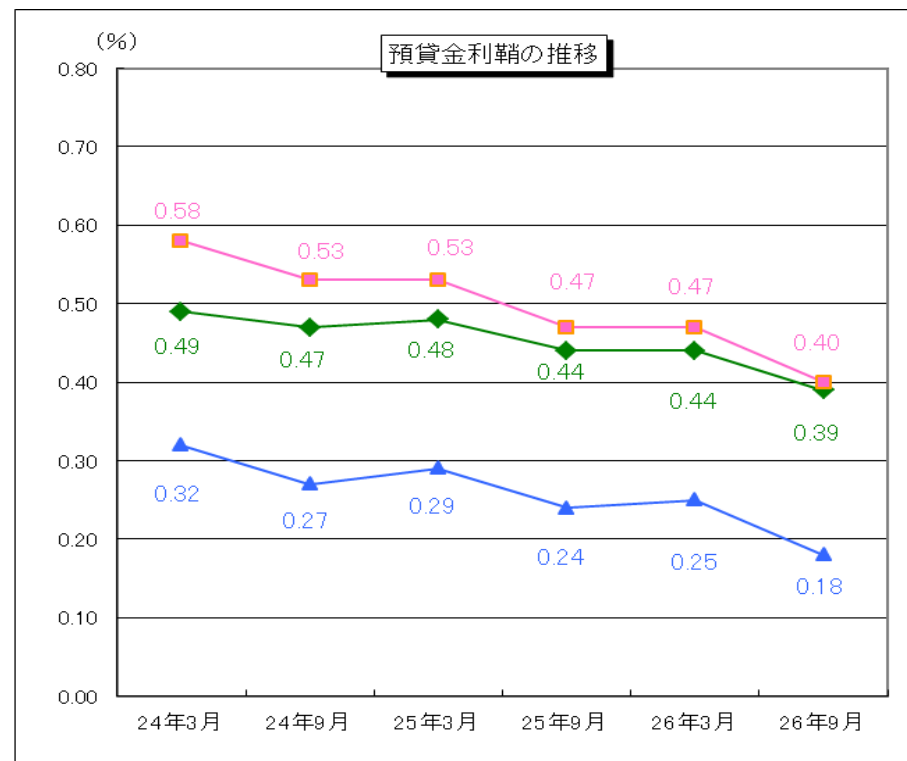
(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金



経費率及び預貸金利鞘の状況



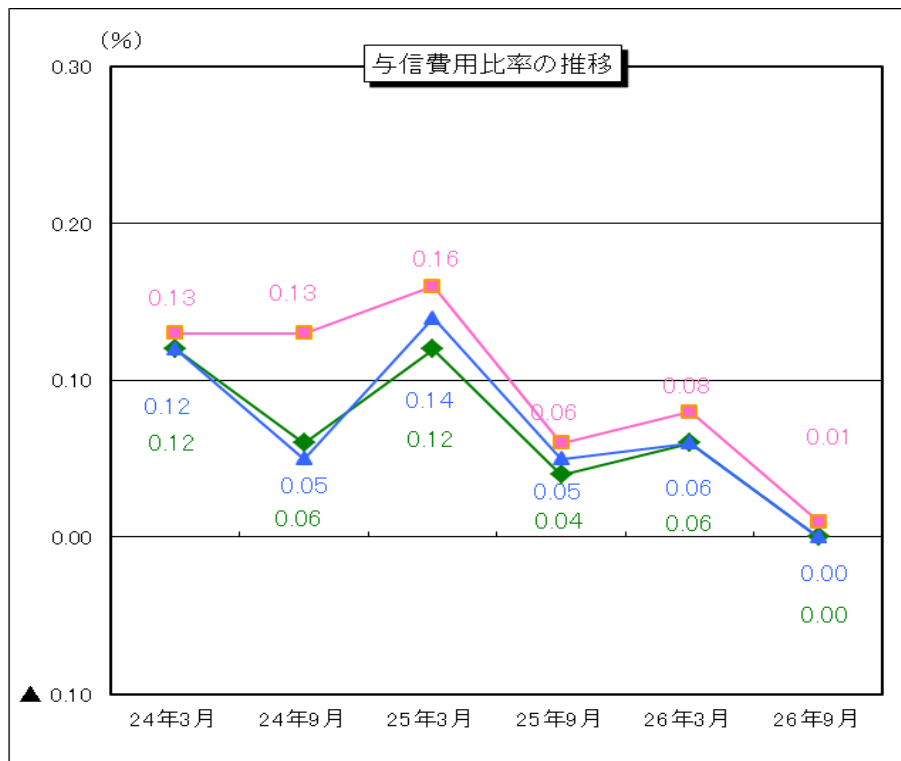
(注) 経費率 (%) = 経費 ÷ 預金等 (平残) × 100



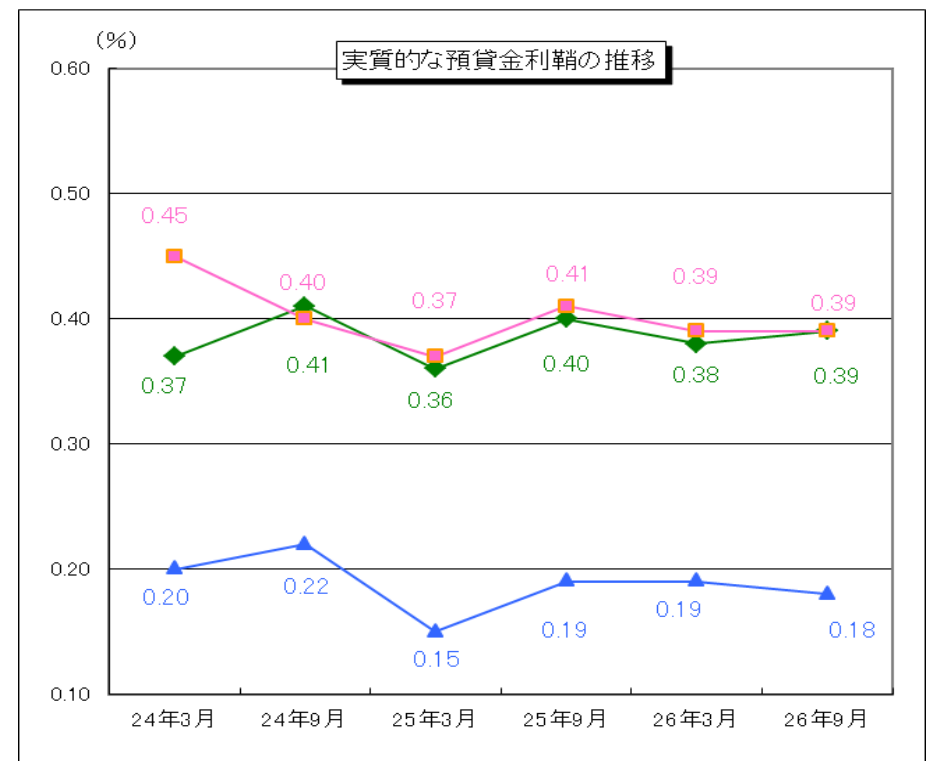
(注) 預貸金利鞘 (%) = 貸出金利回 (%) - 預金債券等原価 (%)
 預金債券等原価 (%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等 (平残) × 100



実質的な預貸金利鞘の状況



(注) 与信費用比率(%) = 与信関係費用 ÷ 総与信 × 100



(注) 実質的な預貸金利鞘(%) = 預貸金利鞘(%) - 与信費用比率(%)



不良債権比率

